

知って備える 防災メモ

第2回



●大規模停電を教訓として

平成24年11月26日から27日にかけての暴風に伴い、市内で4日間にわたり停電が発生しました。

そのとき、電池や使い捨てカイロなどを多くの方が買い求め、市内の店舗で品薄になりました。

いざという時慌てないように、普段から対策を心掛け、必要なものを備えておきましょう。

停電になる前に……

●懐中電灯の準備を

停電に備えて、まず用意しておきたいのが懐中電灯。日ごろは使わない道具だけに、いざというときに備えて、普段から点灯するかどうかチェックしておきましょう。



また、手回しハンドル充電式で、懐中電灯・ラジオ・携帯電話充電器が一体型になった防災グッズもあります。

●予備電池の備蓄

乾電池は使用しなくても消耗します。使用期限を確認して、定期的に買い替えておきましょう。



●冬の停電に備えた防寒対策

冬の停電時に備えて、電気を使用しないストーブや湯たんぽ、使い捨てカイロを用意するなどの防寒対策をしておきましょう。



また、灯油は長期間保存すると、酸化劣化などで変質し、燃焼不良や着火不良などの原因になることがあります。

シーズンごとに使い切り、長期間の保存は避けましょう。

もし停電になったら……

●スイッチはオフ！

停電になったとき、電気器具を使っていたら、安全のためにまずスイッチを切りましょう。電気ストーブやアイロンなどの電熱器具は、電気が復旧したとき、火災の原因になるので、停電したらずぐにスイッチを切り、念のためにコンセントからプラグも抜きましょう。

また、家の外に避難するときは、ブレーカーのスイッチも切っておきましょう。

▼問い合わせ

総務グループ
(☎)1130

人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

登別柔道スポーツ少年団



礼儀作法と思いやりのある強い心を養います

「登別柔道スポーツ少年団」は、昭和48年に結成され、現在5歳から高校生まで男女合わせて12人の団員が、毎週火・木・土曜日の18時から20時まで、市民プールなどで練習に汗を流しています。

「勝つためだけに柔道をやるのではなく、礼儀作法と思いやりのある強い心を養うために稽古をしています。相手を尊重し、認め合うのが登別柔道スポーツ少年団です」と指導者の山本隆義さんは、力強く話してくれました。

団は、日ごろの練習成果を競い合うため、胆振・日高管内で開かれる個人戦や団体戦の競技会に出場しています。

また、競技会だけではなく、バーベキューや温泉旅行など



▲稽古（打ち込み）に励む団員の皆さん

年間を通して季節ごとの行事を楽しみながら、年下の者を思いやり、年上の者を敬う心が育つよう、多くの交流会を実施しています。

「柔道は決して盛んな競技ではありませんし、稽古場の確保もままならない状況です。最近は体罰問題などで騒がれるなど、柔道を取り巻く環境は前途多難ですが、老若男女を問わず生涯楽しむことができます。柔道を通して、自身を強く成長させる子どもが増えてくれたら、これほどうれしいことはありません」と指導者の田中和明さんは話してくれました。

見学や入会を希望する方は
田中さん (☎)090-176531
8287)まで。